

佳作

おとうさん、いつもありがとう

鹿児島県
日置市立伊作小学校二年

山崎 慧史

ほくのおとうさんは、ほくと同じ学校にかよっています。ほくのかよう小学校の教頭先生です。

学校で、おとうさんにあうと、いつも、「がんばつてね。」と言って、体をタッチしてきます。ほくは、「はあい。」とへんじをします。おうちでも学校でもあうので、何だかふしぎです。でも、学校のおとうさんとおうちのおとうさんは、ちがいます。

学校でのおとうさんは、みんなの教頭先生なので、いつも、いそがしそうです。しょくいんしつでパソコンをしたり、にもつをはこんだり、たんにんの先生がお休みのとき、ほくたちに、おべんきょうを教えてくれたりします。

朝は、ほくが、朝ごはんをたべるころには、学校へ行きます。そして、夜は、ほくたちがねるころかえつてくるので、あえないときもあります。たい風の日も、雪の日も、学校に「ばん早く行かないといけません。お休みの日も、学校へ行つて、見回りをしたり、しく小やのにわとりにえさをあげたりしています。ほくは、「学校みんなのために、がんばつてはたらいっているんだなあ。大へんだなあ。」と思います。

おうちでのおとうさんは、やさしくて、いろいろなことを教えてくれます。ほくは、おとうさんと、おとうととキャッチボールをしたり、サッカーをしたりしてあそぶのが、大すきです。でも、ほくがわるいことをすると、おこります。「あなたのために言うんだよ。」と、おかあさんが教えてくれます。

いもうともまだ小さいので、だっこしてねかせるのは、大へんそうです。ほくが、「マッサージしようか。」と言うと、「いいよ。」と言います。本当はつかれているのになと思います。

ほくが、入いんしたときは、しごとがおわると、びょういんにきて、ほくのよこでねてくれました。今も、ほくが、「一人じゃ、ねむれない。」と言うと、いつしよにねてくれます。

ほくは、おとうさんが大すきです。学校に行つてもあえるおとうさんは、ほくのじまんです。これからも、きょうだいなかよくして、おとうさんをよろこばせたいです。おとうさん、いつもありがとう。